

文子

○仏壇の大豊町産さくらんぼ  
梅の実の家中一晩匂いおり  
県道の渡しの船や南吹く

初江

○胡瓜酢にむせて言い訳していたり  
○青梅や去年のレシピ忘れたり  
海南風 SATOUMI 館は少し暇

富江

○南風移動図書館追いかけて  
○南風吾もゆらゆらと船溜  
青梅を数えた幼乙女色

美貴

○プーチンの長き演説日雷  
あめんぼのここにも跳ねる  
立葵この青空のありてこそ

弘

○言い分はそれっぱあかね梅茶漬け  
○梅雨寒や宮口精二の無表情  
○黒南風や売るに売れない資本論

丞子

○南風吹く竿にからまるバスタオル  
青梅や夫いそいそと梅仕事  
梅雨の月てるてる坊主のシルエット



富子

見送りて三度廻るや南風の中  
冷酷な想定外で済ます雨  
青梅と氷砂糖が放つ香

千代

○校庭にタイムカプセル南風  
○青梅や脚立の下に母の顔  
○家中の笹やボウルや実梅もぐ

味元 昭次 作品

老境に入る青梅を地に踏んで  
青梅を投げ友の死を悼みけり  
つばめ魚三匹買えば南吹く

酔花

○蚊取り焚く少しはなれて猫を抱く  
つゆ草のこの紫と梅雨ぬける  
軒下の十葉カラシと上の空

えり

○バテレンの庭あじさいや沖も雨  
南風や海山ひとつ宿毛いき  
亀兄と別れちやいなと蛙便

志津子

青梅や枝触れそうに傘が行く  
夕闇にわずかに揺れて合歓の花  
昼顔や友には告げぬ事もあり



★次回市民句会

【開催日時】

令和四年七月二十七日(水)  
午後一時十五分〜午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室  
どなたでも自由にご参加いただけます

